

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立西公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	11.0km ²	人口	15千人		
施設	開館年度	昭和48年度(旧施設は昭和31年度)		構造	RC一部鉄筋骨造2階建		
	延床面積	1,040.57m ²		敷地面積	1,438.00m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室A ■集会室B ■視聴覚室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,200	2,533	1,996	2,786		
	前年度比	17.8%	15.1%	-21.2%	39.6%		
	参加者負担金	72	73	74	86		
	前年度比	-8.9%	1.4%	1.4%	16.2%		
	軽印刷その他雑入	273	212	155	241		
	前年度比	-17.5%	-22.3%	-26.9%	55.5%		
	計	2,545	2,818	2,225	3,113		
支出	活動費(0101)	184	129	167	211		
	維持管理費(0102)	5,366	5,322	5,070	6,236		
	事務費 (0103)	人件費	9,147	9,229	9,681	10,014	
		その他	564	454	438	417	
	計	15,261	15,134	15,356	16,878		
	前年度比	7.7%	-0.8%	1.5%	9.9%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	0		
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	53,445	51,987	48,543	42,700	
		利用件数	3,465	3,687	3,296	2,900	
		利用日率	81.0%	84.2%	78.1%	81.8%	
		コマ稼働率	35.4%	36.6%	37.0%	36.3%	
	事業	事業日数	152	129	131	125	
		参加者数	7,410	6,501	6,742	950	
	図書 室	利用者数	3,616	3,550	3,115	2,850	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
その他	納税取扱件数	0	0	0	0		
令和元年度 (平成31年度)方針		①住民の団体や地域人材との連携を強化し、まちづくり・生涯学習の拠点としての公民館活動の充実を図る。②災害時の避難場所整備を、関係機関と連携し強化充実を図る。③教育機関との連携・強化のため、西中学校コミュニティ・スクール推進のための事業を展開する。④新たな西公民館の整備及び円滑な移設のため、関係部署との連絡・調整を図る。					
前年度改善事項		老朽化している狭いロビーの模様替えを行い、ロビーの雰囲気を変えて年中行事を体験するスペースとしたことにより、より多くの地域住民が集える場所となった。 また、西中学校コミュニティ・スクールの事業である親子英会話教室も3年継続することができ、地域との連携がより一層図られた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			講座終了後のアンケートや公民館運営協議会委員の意見及び公民館事務員の意見を参考に自主事業の見直しを図り、6つの柱事業を基本に新規事業を5本実施するなど工夫をこらしたことで、参加者数の増加が図られた。令和元年度は公民館運営協議会を年2回開催したが、その他にも適宜利用団体と話し合う機会を設けた。また、隣接する西中学校のコミュニティ・スクールの構成メンバーとして委員4名が関わることができ、地域との関係を一層深めることができた。 公民館自主事業の周知に当たっては、ホームページの充実を図るとともに、広報はだの以外にも地域の小学校において子供向け事業のチラシを全児童に配布したり、タウンニュース紙に4回掲載したりした。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			公民館利用団体、特に自治会やまちづくり委員会の構成団体や西中学校コミュニティ・スクールの委員と連携を密にして、地域の拠点としての公民館づくりに努めた。また、43回目を迎えた公民館まつりも参加団体の高齢化やマンネリ化を防ぐため、新たな参加団体を呼びかけた結果、7団体もの新規参加があり、合計52団体が参加し、2日間のまつりも大いに盛り上がりを見せた。まつり実行委員長も、自治会連合会長が歴代就任していることから、地域のイベントとして位置付けられるよう、今後も連携協力を充実していきたい。 公民館利用団体数がここ数年減少傾向にあるため、公民館自主事業のサークル化や高齢化したサークルをサポートしたりして利用団体の増加に努めた。今後も公民館利用団体が増加するよう、誰もが気軽に集える公民館の運営や情報の収集・提供を適宜行うなど工夫をしていきたい。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			施設の老朽化、駐車場の狭隘、エレベーター無しなどで利用者からの不満はあるものの、令和2年9月には新たな西公民館が設置されるので、それまでの間は利用者には不便をかけないように修繕に取り組み、「秦野で一番親切な公民館窓口」を目標に掲げ、職員全員が、明るく丁寧な窓口対応を心掛けた。図書室職員も狭い図書室をカバーするため、ロビーワークとして、本の貸出しを応援する「ブック展」や、毎回テーマを決めて本の魅力や本の情報を発信する「本の会」を開催して読書環境の醸成を図った。 また、年中行事・花の展示・掲示物等を整理し、見やすく明るい雰囲気づくりに努めた結果、利用者からも好評を得ていることから、さらに工夫していきたい。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	ボランティア・地域団体・学校等の協力・連携により、幼児から高齢者向けの事業を、年間29事業、延べ125日間開催し、概ね計画通り公民館事業運営が図られた。今後は、これまでの成果を踏まえ、地域の諸団体と連携を強化し、地域活動及びまちづくりの拠点として公民館活動を進めていきたい。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	西地区から取組みが始まったコミュニティ・スクール(学校運営協議会)において、公民館は重要な役割を果たしている。学校や地域との連携・協働を積極的に進め、生涯学習の拠点として質の高い「人」「場」「機会」の提供を評価する。次年度は市内で初の複合施設として再スタートするため、防災も含めた「地域の拠点」としての重要度も増す。より一層、「市民と共にある公民館」を目指してほしい。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	平成31年度方針に掲げる西中学校のコミュニティ・スクール推進のための事業について、英会話教室や防災訓練の開催等、教育機関及び地域住民との連携を図りながら適切に実施することができていた。また自主事業においては、子どもに焦点を置いた新規事業を多数展開することで、参加者数が増加したことは評価できる。次年度は、市内初の複合施設として再出発するため、更なる利用満足度向上の施策に期待したい。			

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	6km ²	人口	33千人		
施設	開館年度	昭和45年度		構造	鉄筋コンクリート造2階建		
	延床面積	994.26m ²		敷地面積	1,476.45m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■学習室 ■集会室 ■視聴覚室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,899	2,260	1,889	2,431		
	前年度比	25.5%	19.0%	-16.4%	28.7%		
	参加者負担金	18	24	8	23		
	前年度比	28.6%	33.3%	-66.7%	187.5%		
	軽印刷その他雑入	249	264	244	278		
	前年度比	-9.8%	6.0%	-7.6%	13.9%		
	計	2,166	2,548	2,141	2,732		
支出	活動費(0101)	232	245	241	211		
	維持管理費(0102)	5,530	5,963	5,493	6,495		
	事務費 (0103)	人件費	8,934	8,980	9,380	14,200	
		その他	498	540	445	569	
	計	15,194	15,728	15,559	21,475		
	前年度比	4.8%	3.5%	-1.1%	38.0%		
	営繕工事費(0200)	0	10,516	0	0		
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	50,853	49,462	45,789	48,000	
		利用件数	3,202	3,512	3,233	3,300	
		利用日率	77.1%	80.5%	74.5%	77.0%	
		コマ稼働率	32.7%	34.2%	33.9%	35.0%	
	事業	事業日数	167	175	166	173	
		参加者数	6,960	6,395	6,114	6,500	
	図書 室	利用者数	6,504	6,273	5,964	6,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
	その他	納税取扱件数	6	9	0	0	
元年度方針		地域の歴史や風習を学ぶ伝統行事を開催し、地域団体と連携してコミュニティ意識の向上を図るとともに、サークルを支援する講座を開催し、地域の活性化を図る。					
前年度改善事項		公民館まつりにおいて、開会式会場のレイアウトを変更したり、発表の部の進行を工夫し、よりよい運営に努めた。また、新規の講座を開設するとともに、講座終了後にアンケートを実施して市民ニーズの把握に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会や利用者説明会、日常の窓口での利用者とのやり取り等を通して、広く意見を吸収し、公民館活動に取り入れることができた。特に公民館運営協議会では、活発に協議・検討、意見交換、情報交換を行い、より良い公民館運営につながった。職員の研修として、職場内研修を実施するとともに、市主催の研修や県公連主催の研修会に参加し、職員の資質向上に努めた。公民館での自主事業については、ポスターなどを掲示するとともに、広報はだの以外にも、公民館報やホームページに掲載し、地域に発信している。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	5			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			地区別市政懇談会、まちづくり委員会、子どもを育む協議会等で地域課題を把握し、連携して取り組んだ。そのような中、令和元年度は伝承行事・介護予防・子育て支援・環境問題・子ども向け講座を全51講座開講した。それぞれの講座には講師や共催者として住民や関係団体の参加を得ることができた。公民館まつりでは実行委員会を組織して開催し、学校・自治会・婦人会・体協・青少年育成団体等と連携し、協力体制をとりながら取り組むことができた。そのような中、一部事業では、団体相互の連携が図られた。公民館活動については、館報・ホームページ等により情報提供を行った。また、活動団体を紹介するなど、学習相談に応じた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	5			
	地域の学校や関係機関等と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	5	4	
施設の利用について	施設の利用方法に利用者は満足しているか	3			エレベーターが無い点や駐車台数が少ない点など、改善すべき課題はあるが、あいさつ・笑顔・公平・親切・丁寧な対応を心掛け、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めた。図書室の取り組みとしてロビーに塗り絵コーナーを設けたり、テーマ別にしたおすすめ本を展示したりし、読書活動を推進した。また、季節に応じてロビーに雛飾り・武者鎧・七夕飾り等を展示し、来館者との交流を図った。外壁改修工事、音響設備工事、舞台袖への手すり設置等を行い、利用者が安全・快適に利用できるよう努めた。
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができていますか	3			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	

評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職員	4	地域の伝承行事を後生に伝えるための事業を実施するとともに、新規の講座を開講するなど、地域のニーズに応えた。また、公民館まつりの運営方法の一部を見直し、改善することができた。今後も、生涯学習の活動拠点として、地域の活性化に寄与していきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	運営協議会委員は、それぞれがまちづくり委員会やサークル、講座の講師等を務める中で、公民館運営に積極的に参画することができた。公民館としての取り組みでは、開講予定の自主講座について、種別ごとに分けた講座案内を作成し、実施する事業を分かり易く案内している。また、地域の中でまちづくりや学習の拠点として、事業の開催にあたっては様々な分野にわたって事業の計画をし、地域の活性化に向けて努力した。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	施設環境において課題点は見られるが、窓口業務での利用者の対応や読書活動推進等、取り組みへの工夫が感じられる。また講座では、伝承行事の継承に力点をおきながら、介護予防・子育て支援・環境問題など51講座を展開し、幅広い世代を対象にしていることが伺える。しかし事業の参加人数が減少傾向であるため、利用者のニーズを適切に把握し、周知方法の改善などにも期待したい。

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立北公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	20km ²	人口	13千人		
施設	開館年度	平成12年度		構造	RC2階建		
	延床面積	1,493.25m ²		敷地面積	2,712.32m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■音楽室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,317	2,688	2,331	3,300		
	前年度比	13.2%	16.0%	-13.3%	41.6%		
	参加者負担金	72	91	58	79		
	前年度比	26.3%	26.4%	-36.7%	37.2%		
	軽印刷その他雑入	271	333	340	234		
	前年度比	-22.3%	22.9%	2.1%	-31.2%		
	計	2,660	3,112	2,729	3,613		
支出	活動費(0101)	784	784	777	775		
	維持管理費(0102)	8,502	8,205	6,892	8,546		
	事務費 (0103)	人件費	9,202	9,381	9,331	10,012	
		その他	862	366	487	366	
	計	19,350	18,736	17,487	19,699		
	前年度比	10.4%	-3.2%	-6.7%	12.7%		
	営繕工事費(0200)	0	37,300	4,432	4,080	外構工事	
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	45,275	43,464	35,794	32,000	
		利用件数	2,950	2,863	2,638	1,900	
		利用日率	80.2%	80.5%	73.2%	70.0%	
		コマ稼働率	33.0%	34.7%	32.1%	32.3%	
	事業	事業日数	108	114	98	66	
		参加者数	4,286	6,338	6,039	5,800	
	図書 室	利用者数	4,325	3,702	3,556	3,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,359	4,397	3,932	4,000	
その他	納税取扱件数	11	12	12	12		
31年度方針		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業を通して生涯学習活動を推進する。 ・地域、学校、利用者団体等との連携により地域の拠点化としての実績を積み上げるとともに、安全で快適な施設の運営に努める。 					
前年度改善事項		<ul style="list-style-type: none"> ・正面駐車場の整備や施設修繕、物品の更新等に取り組んだ。 					

		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>自主事業の開催・館の運営については、市ホームページや自治会回覧、事業のチラシ等の配付や掲示等により情報を発信するとともに、公民館運営協議会や利用者団体、来館者、講座アンケート等の意見を踏まえ事業の見直し、物品の更新や利用方法の改善を積極的に行った。</p> <p>職員のスキルアップのため、環境管理研修やシステム操作研修等を受講するとともに、施設の維持・管理等に係る職場研修を実施した。また、運営協議会委員との情報共有等のため、委員に対しては、研修会への案内や行政情報の提供、意見交換の場を設けるなどの機会を確保した。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>地域の課題への対応として、公民館事業及び地域や学校、PTAとの連携による子供の見守り活動等を通して子供を取り巻く課題や地域課題の把握に努め、まちづくり活動の拠点としての役割を担った。</p> <p>公民館の在り方の観点からは、関係団体等の活動拠点や地域住民への情報提供の場として機能させるとともに、子育てに関するものや生きがいづくり、交流の場の確保、環境保護等をテーマとした延59の事業を展開した。内、12事業17回については、見直しにより小中学生向け体験講座や、健康づくり、音楽相談、伝統料理などの新規講座を実施した。</p> <p>また、公民館まつりを開催したり芸能まつりの会場となることで、利用団体の社会参加や団体間の連携の向上を図るとともに、館報や市ホームページ、地方紙、タウン誌等を活用して、地域住民の公民館事業への参加を促すことができた。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			<p>来館者への積極的な声掛けなど、親しみやすい雰囲気づくりを推進するとともに、図書室内の学習スペースを充実させることなどにより、施設の利用の向上を推進した。</p> <p>施設・設備等の点検は念入りに行い、修理等が生じた際は迅速に対処するとともに、近隣住民、利用者等からの要望、苦情等にも臨機応変に対応した。</p> <p>また、ストックハウス設置場所の整備を行ったり、駐車場を幅広い用途に開放するなど、柔軟な対応により地域住民の利便性の向上を図ることができた。</p> <p>北地区の街づくり委員会の活動拠点を確保した。</p>
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
評価	4	4	4		
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>地域課題や利用団体の意見を取り入れた見直しの結果、関係団体との協力、連携を強化し、ボランティア講師を主として、幼児からシルバー世代に向けたものまで、年間延べ98の講座を開催した。特に、地域の史跡を訪ねることや、正月飾り・正月料理の作り方を学ぶことなど、講座を介して地域の魅力を紹介した。また、公共的団体の活動拠点や地域住民への情報提供の場として機能させるとともに、安全で快適な環境を継続させるため、施設・設備の適切な維持・管理を行った。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>全体的には非常に良好な運営を行っている。</p> <p>特に今年度については公民館内に地域の活動拠点を設置したこと、敷地内に活動のための倉庫・ストックハウスなどが設置されたことで利用者の利便性を上げたことは評価をするべき点である。</p> <p>自主事業についても多数の新規事業を企画導入したことは、新規利用者の活動の可能性を拡大したこととして評価する。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>利用者に対してアンケートを実施し、ニーズを的確にくみ取り、反映していることは高評価に値する。加えて地域の活動拠点として、利用者の利便性向上のために、倉庫・ストックハウスを設置したことや、平成31年度方針に掲げた安全で快適な施設の運営に対し、図書室の充実性向上及び来館者への積極的な対応など、成果を上げていることも高く評価できる。</p>			

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立大根公民館					
職員数		9名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 5名 図書室 3名					
対象エリア		面積	6km ²	人口	26千人		
施設	開館年度	昭和48年度(旧施設は昭和31年度)		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,136.14 m ²		敷地面積	1,587.03 m ²		
	室名	■多目的ホール ■集会室 ■学習室 ■和室 ■調理室					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料		2,864	3,403	2,919	3,126	
	前年度比		18.9%	18.8%	-14.2%	7.1%	
	参加者負担金		169	173	167	107	
	前年度比		-3.0%	2.4%	-3.5%	-35.9%	
	軽印刷その他雑入		248	212	220	269	
	前年度比		-9.2%	-14.5%	3.8%	22.3%	
	計		3,281	3,788	3,306	3,502	
支出	活動費(0101)		207	179	189	209	
	維持管理費(0102)		7,164	7,636	5,953	7,192	
	事務費 (0103)	人件費	12,629	11,216	11,485	11,588	
		その他	454	454	367	362	
	計		20,454	19,485	17,994	19,351	
	前年度比		17.6%	-4.7%	-7.7%	7.5%	
	営繕工事費(0200)		20,570	0	4,551	0	
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	42,523	41,304	37,037	30,000	
		利用件数	2,919	2,898	2,751	2,000	
		利用日率	83.1%	84.7%	76.3%	70.0%	
		コマ稼働率	38.0%	38.4%	38.0%	30.0%	
	事業	事業日数	88	79	74	60	
		参加者数	2,888	3,083	3,395	2,500	
	図書 室	利用者数	9,311	9,092	8,715	8,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	5,318	4,980	4,234	-	
その他	納税取扱件数	15	14	9	-		
31年度方針		平成31年度の大根公民館運営方針として、地域住民から親しまれ愛される公民館を目指し、職員は明るく親切丁寧な対応に努める。また、利用団体や関係機関との連携を図るとともに、より大勢の方々に公民館を知っていただき訪ねていただけるように、様々な媒介を通して公民館活動を積極的にPRし、利用者の拡大を図る。					
前年度改善事項		敷地内の不要物品の整理や樹木の管理などを適正に実施し、来館者が気持ちよく利用してもらえる環境づくりに努めた。また、第40回公民館まつりでは、多くの方に公民館を知ってもらう機会となるよう、関係者の協力のもと、大抽選会や大根中吹奏楽部の演奏といった特別企画をはじめ、東海大学生の活気あふれるパフォーマンスのほか、参加団体が趣向を凝らしたイベントを実施した。その結果、多くの来館者を得て、盛大に開催することができた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>講座参加者や一般利用者を対象としたアンケート調査を実施し、今後の事業を検討のするうえでの参考とした。</p> <p>公民館運営協議会を2回開催(3月の第3回協議会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員への資料送付に留めた)し、それぞれの立場から貴重な意見をいただいた。さらに先進事例等の講演がされた県公連主催の研修会へ2名の委員に参加していただいた。</p> <p>公民館の運営については、公民館職員は交代勤務であるため、毎日始業前に朝礼を実施し、職員間の情報交換、共有化とスケジュールの明確化を図り、円滑な業務進行に努めた。</p> <p>公民館活動のPRとしては市ホームページによるタイムリーな情報提供に努めるとともに、2か月に1回、館報を発行し関係機関へ配布し、周知に始めた。昨年度からは館報の大根地区自治会への組回覧及び東海大学でも配架・掲示をしてもらった。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>公民館運営協議会の中での公民館運営等に関する意見や現代的な課題への指摘・提言をいただいた。</p> <p>「公民館まつり」と「おおね音楽祭(新型コロナウイルス感染防止のため今年度は中止)」は参加者による実行委員会を組織し、参加者が考え行動し、運営する事業としている。</p> <p>新たな試みとして、夏休み期間中の子どもの居場所づくりと学習支援を目的に「学習室無料開放」を実施したが、周知不足等により、十分な成果(利用者)は得られなかった。反省点を今後の改善につなげたい。</p> <p>東海大学が立地する大根地区の特性を生かし、公民館利用者である大学生の協力を得て、公民館まつりへの出演、運営協力をはじめ、若い力、発想による講座(砂絵や科学教室など)を実施できた。</p> <p>東海大学生のサークルや趣味活動団体と連携し、新たな講座を開催する段階にあったが、残念ながら新型コロナウイルスの関係で中止せざるを得なかった。新年度においてもウイルスの影響が危惧される。</p> <p>また、記念開催の公民館まつりのPRについては、タウンニュース社へ情報提供し、大きく取り上げてもらった。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			<p>利用方法は概ね満足されていると思われるが、ハード面で施設へのエレベータ設置を望む声は大きい。</p> <p>利用者に対しては、笑顔で明るく接することを念頭に、所管外であっても、たらい回しにならないように担当課へ電話で確認するなど、相談者の立場になって親切丁寧な対応に努めている。また、様々な案内は極力文字化して分かりやすく表示している。</p> <p>図書室では職員交代が2名あったが、職員間の連携のもと「読み聞かせ」や「本読みチャンピオン」などの事業を実施できた。</p> <p>建設から40年以上経過した施設の経年劣化は否めないものの、「古くてもきれいな施設」を目指して、的確な施設管理に努めた。</p> <p>昨夏はゴーヤ栽培にも注力し、ゴーヤが作るカーテンは来館者の関心を引くとともに、「ゴーヤ募金」を実施し、公民館まつりの運営資金の一助とした。</p>
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	3			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	
評価:5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>節目の開催となった第40回おおね公民館まつりでは、関連企業に協賛をお願いし、大抽選会等の特別企画を実施することで、大勢の方に来場いただくことができた。新型コロナの問題はあるが、今後も幅広い年齢層の方々が公民館に訪れていただけるよう、講座の土日開催を増加させるなど様々な取り組みに挑戦したい。また、雨漏りなど、色々な箇所劣化が進んでいる古い施設ではあるが、気持ちよく利用していただけるよう、日々の管理に努めてきた。新型コロナウイルスの影響も十分に考慮し、これからも安全を第一に「掃除」、「整理整頓」、「清潔」の3つのSに心がけた対応を進める。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>第40回の節目を迎えた「おおね公民館まつり」は、利用団体をはじめ、地域や学校等の関係団体が力を合わせて盛大に実施できた。一つの目標に向かい、参加団体等が一体となり、作り上げていく過程にも価値が感じられる事業となったことは高く評価できる。また、子育て支援など、利用団体のコラボにより相乗効果が生まれる事業も出てきており、公民館が連携の拠点となっている。さらなる交流の輪を広げるためにも、エレベーターの設置による利便性の向上は必須である。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>公民館全体の課題点でもある若年層の利用率は、大根地区に立地する東海大学のサークルや団体と連携することで改善すると思われたが、新型コロナウイルスの影響に伴い、東海大学生のサークル等が主体の新たな講座が中止になってしまったことは、非常に残念である。来年度は、状況を見ながら実施できることを望む。また施設の老朽化は早急に策を講じなければならない問題であるが、清潔感を保つ努力を施している点や図書室の機能についても適切に整備されていることから、職員の努力を高く評価する。</p>			

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立東公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	29km ²	人口	16千人		
施設	開館年度	昭和56年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,063.86m ²		敷地面積	2,424.60m ²		
	室名	■集会室A ■集会室B ■和室 ■調理室 ■多目的ホール■小和室					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,580	1,713	1,151	1,527		
	前年度比	36.0%	8.4%	-13.8%	32.6%		
	参加者負担金	165	183	103	107		
	前年度比	12.2%	10.9%	-43.7%	3.8%		
	軽印刷その他雑入	359	312	277	348		
	前年度比	16.6%	-13.1%	-11.2%	20.4%		
	計	2,104	2,171	1,531	1,982		
支出	活動費(0101)	257	271	285	212		
	維持管理費(0102)	6,667	7,551	5,817	7,134		
	事務費 (0103)	人件費	8,875	9,078	9,544	10,012	
		その他	564	597	355	417	
	計	16,363	17,499	16,001	17,775		
	前年度比	4.7%	6.9%	-8.6%	9.9%		
	営繕工事費(0200)	0	0	24,483	0		
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	36,725	35,581	28,162	37,000	空調工事、新型コロナウイルスの影響により減
		利用件数	2,206	2,158	1,902	2,250	
		利用率	65.5%	67.1%	56.5%	66.0%	
		コマ稼働率	25.1%	24.3%	22.7%	26.0%	
	事業	事業日数	99	99	82	100	新型コロナウイルスのため3月は事業休止
		参加者数	4,976	6,278	5,393	5,500	
	図書 室	利用者数	4,641	4,182	3,971	—	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,177	3,967	3,846	—	
その他	納税取扱件数	5	4	0	0		
31年度方針		地域の諸団体や地域人材との連携を強化し、地域の拠点としての公民館活動の充実を図る。また、通年会館及び少人数職場として、施設の安定的な運営及び様々なリスク管理に考慮した上で、必要な事業実施に努める。					
前年度改善事項		公民館運営方針を見直し、よりいっそう地域のまちづくりの拠点としての公民館運営を心掛けた。また、地域の子どもの成長に寄与できるよう、事業を拡充するとともに、登下校時に、適切な子どもの見守りを行った。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4	/	/	公民館運営方針に基づき、地域の諸団体や地域人材との連携による事業を実施するとともに、地域の諸団体が主催する事業を支援した。講座終了後のアンケートや利用者説明会での意見及び公民館運営協議会委員の意見を踏まえ自主事業を実施した。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4			
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4	/	/	まちづくり委員会や地域の諸団体からの情報収集に努め、連携を深めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3	/	/	職員全体として、来館者への声掛け、交流に努めるほか、小中学生の登下校時における見守り、緊急対応を行った。
	利用者への対応は適切か	3			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4			
<p>評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)</p>					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	公民館の利用状況としては、空調工事による長期休室、新型コロナウイルス感染予防のための利用制限があったため、利用件数、人数、主催事業ともに前年度に比べ、大きく減少したが、4月から2月までの事業については、計画どおり実施することができた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防に最大限の配慮をしながら、利用者、講師の意向を十分踏まえて公民館運営を行っていく。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	公民館運営において、地域の諸団体との連携が良く図られ、住民の公民館活動への参加も積極的に行われている。図書室における子どもの読書活動推進への取り組みは、大変評価できる。また、職員の利用者対応もよく、登下校時の子どもの見守りや緊急対応も積極的に取り組んでいる。施設設備の改善にも積極的に、利用しやすい環境整備が図られている。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	新型コロナウイルスによる事業の休止によって生まれた時間を研修機会と捉え、公民館職員が接遇研修や消防本部主催の救命救急講習、環境管理に関する内部研修等積極的に参加されている事は、非常に素晴らしい。また、環境整備や清掃等にも職員一丸となって取り組んでおり、清々しいものがある。加えて、図書室も熱心に運営されており、子どもの拠所となっていることから、公民館の本質的な機能を果たしている。引き続き図書職員を含めたチームワークを大切にした施設の運営に取り組んでほしい。			

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立鶴巻公民館					
職員数		9名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 5名 図書室 3名					
対象エリア		面積	2.4km ²	人口	15.3千人		
施設	開館年度	平成2年度		構造	鉄筋コンクリート地上2階建地下1階		
	延床面積	1,369.46m ²		敷地面積	1,936.09m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■音楽室 ■和室 ■コミュニティ室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,891	3,606	2,903	3,093		
	前年度比	32.7%	24.7%	-19.5%	6.5%		
	参加者負担金	62	17	57	97		
	前年度比	-39.2%	-72.6%	235.3%	70.2%		
	軽印刷その他雑入	188	241	187	229		
	前年度比	-8.7%	28.2%	-22.4%	22.5%		
	計	3,141	3,864	3,147	3,419		
支出	活動費(0101)	123	125	120	213		
	維持管理費(0102)	7,688	6,911	7,736	7,615		
	事務費 (0103)	人件費	10,881	11,279	11,678	10,011	
		その他	417	370	363	360	
	計	19,109	18,685	19,897	18,199		
	前年度比	18.1%	-2.2%	6.5%	-8.5%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	0		
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	42,837	44,194	37,226	40,000	
		利用件数	3,768	3,403	3,103	3,000	
		利用日率	78.3%	74.5%	69.3%	74.0%	
		コマ稼働率	34.3%	30.1%	29.2%	30.0%	
	事業	事業日数	28	32	51	45	
		参加者数	3,948	3,791	3,755	3,700	
	図書室	利用者数	11,707	10,692	9,231	10,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	7,250	4,135	3,221	-	
	その他	納税取扱件数	15	38	22	-	
31年度方針		地域の交流拠点として親しまれ、信頼される公民館を目指すとともに、地域課題に積極的に取り組むなど市民が安心・安全に暮らせる地域を目指します。また、市民企画提案事業や公民館自主事業を積極的に実施し、市民の学習活動を支援します。					
前年度改善事項		ボランティア講師による市民企画提案方式の導入の図るとともに、自主事業の拡充を図った。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	2	/	/	ボランティア講師による事業を展開するとともに、運営協議会での企画提案に基づき事業を実施した。 公民館職員の研修については、人事課による接遇訓練、AEDの研修及び16mmフィルムの操作研修に参加し、子ども達に対し、映画会を実施した。公民館の自主事業については広報はだの以外にも、ホームページの充実を図るとともに新規事業についてタウンニュース紙に掲載をした。 また、近隣の小学生の見学や中学生の職場体験の受け入れ及び地域の課題に対する自主事業の参加について、自治会長との連携を図った。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	3			
	評価	3			
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5	/	/	自治会や学校と連携するとともに地域の子どもの育む会などを通じて地域の課題の把握に努めている。 また、関係団体・ボランティア等の協力・協働により講座等を実施するとともに公民館まつりは、実行委員会により企画運営を行い、参加団体の増加に努めた。さらに秦野市防災アドバイザーの協力を得て、防災等についての講習会を増回し、地域での課題を確認するなど防災の意識向上を図った。 自主事業の講座終了後には、実施団体への加入など積極的な活動が図られた。 また、公民館まつりなどに加え、ちびっこ広場など一部の公民館事業においても地域の団体等との連携を図るとともに、昨年度に引き続き、夏休みの事業のチラシを小学校等に配布し、参加を促した。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4			
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3	/	/	住民と利用団体との良好な関係が築かれており、公平、公正な対応に心がけ、館全体で「声掛け」の励行など気軽に利用できる雰囲気づくりに努めている。 また、今年度は鶴巻民生員児童委員協議会の活動内容のPRを図った。 図書室では、新着図書を入りに配置するなど利用者の利便性を高めるとともに施設面においては、老朽化による雨漏り等の施設の不具合がみられるが、安全に利用できるよう普段から施設管理・維持に努めている。
	利用者への対応は適切か	3			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができていますか	2			
	図書室は機能しているか	3			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	3			
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	3	地域まちづくりの拠点として、地域住民・地域団体・利用団体等との連携に努め、地域の課題について共有を図るとともに利用者が安心・安全に利用できるよう施設の維持管理に努めた。 今年度は、自主事業の拡大に努め、昨年度の実績回数(32回)に対し、60回を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症のまん延防止による自主事業の中止や3月10日からは、公民館利用の一部制限措置が取られたことにより、本来の公民館活動ができなかった。 引き続き地域や利用団体と連携を図るなど地域に根ざした活動を展開していきたい。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	3	地域の生涯学習の拠点、交流の拠点として、親しまれ信頼される公民館活動を推進しており、また、自主事業の内容が多岐にわたり、幼児から高齢者まで幅広い層の参加があり活気ある活動が展開された。地域課題にも積極的に取り組み「防災・減災サロン」の開催による防災意識の啓発により、市民の安心・安全を図ることができた。 学習室の開放や卓球教室を開催するなど子供達のニーズや居場所作りに努め、地域住民から高い評価を得ており、また、新型コロナウイルス対応では、利用者の健康を守るために「3密回避」、「手洗い励行」、「水分補給」、「換気」など適切な対応をしている。 人々の生活様式が大きく様変わりしているが、「地域に愛される公民館、地域とともに歩む公民館、行ってみたい公民館」となるようオール鶴巻で支援したい。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	新型コロナウイルスの影響に伴い、他公民館の事業数が減少傾向にある中、事業日数を前年度より約1.5倍増加させ、参加者数を維持している努力を高く評価したい。「公民館の運営に住民意見を反映させているか」の項目については、学習室の開放や卓球教室の開催など、子ども達のニーズを的確に反映していることから、職員の努力が伺える。しかし自己評価を参照すると、利用者説明会が実施できていないため、来年度以降の開催を期待する。環境や関係づくりにおいては、地域と積極的に連携を図り、夏休み事業のチラシ配布など利用者が気軽に利用できる工夫を施している点も評価できる。			

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立上公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	12.4km ²	人口	2,279人		
施設	開館年度	平成5年度		構造	鉄筋コンクリート造り2階建て		
	延床面積	859.54m ²		敷地面積	1176.16m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■多目的ホール ■会議室					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,035	1,148	766	1,064		
	前年度比	48.3%	10.9%	-33.3%	38.9%		
	参加者負担金	42	28	27	39		
	前年度比	23.5%	-33.3%	-3.6%	44.4%		
	軽印刷その他雑入	96	75	91	69		
	前年度比	29.7%	-21.9%	21.3%	-24.2%		
	計	1,173	1,251	884	1,172		
支出	活動費(0101)	156	143	153	201		
	維持管理費(0102)	7,142	6,900	4,886	6,909		
	事務費 (0103)	人件費	8,238	8,337	9,334	10,012	
		その他	1,573	1,398	358	363	
	計	17,109	16,778	14,731	17,485		
	前年度比	18.3%	-1.9%	-12.2%	18.7%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	0		
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	16,383	15,032	12,310	14,000	
		利用件数	1,311	1,172	978	1,100	
		利用日率	47.5%	42.6%	37.6%	42.6%	
		コマ稼働率	16.8%	13.9%	12.3%	13.9%	
	事業	事業日数	98	82	104	120	
		参加者数	3,703	3,467	2,823	3,500	
	図書 室	利用者数	1,502	1,397	1,303	1,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	1,140	1,102	870	-	
	その他	納税取扱件数	12	10	19	-	
31年度方針		31年度の運営方針として、地域のまちづくり・生涯学習の拠点施設であることの認識を深め、地域・利用者団体の意向に沿った施設運営を図ると共に、風水害避難所として適切に役割が果たせるよう努める。また、地域・小学校と連携した各種事業に積極的に取り組む。					
前年度改善事項		かみ放課後子ども教室について、地域コーディネータ等の関係者と意見交換を行い、保護者の事業参画、指導者の紹介、活動内容の紹介等、参加意欲や運営関係者への感謝といった保護者・児童の事業への理解を深める取り組みを進める。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4	/	/	運営協議会や利用者懇談会等の意見を踏まえ、利用者の観点からの公平・公正な運営に努めている。自主事業については広報、ホームページ、館報、タウンニュースの活用など、積極的な周知を図るとともに、講座参加者との意見交換を通じて次回開催に向けた改善に努めている。研修については、毎年、神奈川県が主催する研修に職員、運営委員ともに参加し、スキルアップに努めている。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4			
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4	/	/	まちづくり関係の課題については、市、まちづくり委員会、地域団体等からの情報把握に努めている。事業については、関係団体で構成する実行委員会やボランティア等の協力、幼稚園・小学校の参加のもとに地域性のある事業を開催している(公民館祭り、七夕、ひなまつり、観劇会等)。かみ放課後子ども教室については、小学校と地域住民が連携して子供たちを育成するという考えのもとに事業を展開し参加児童も多いが、保護者の事業に対する理解が不足しているとの指摘もあり、保護者の事業参画等、改善に向けた取組を進めたい。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4			
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3	/	/	一部施設の老朽化は見られるものの、苦情もなく概ね利用者には満足していただいているものとする。管理運営面においては、積極的なあいさつ、声掛けを始め、館内の清掃、整理整頓等、住民が親しみやすい環境づくりに努めている。また、図書室については、図書の貸出業務はもとより利用者と気軽なコミュニケーションを図ることにより、住民の憩いの場となっている。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4			
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	地域の活性化が大きな課題となる中で、公民館がその拠点施設として、関係団体等との一層の連携と利用しやすい環境整備に努めていきたい。自主事業の中で、端午の節句、七夕飾り、十三夜、ひな人形展など、上公民館ならではの地域性のある事業について好評を博しており、後継者という課題を克服しつつ後世への伝承という観点からも継続していきたい。かみ放課後子ども教室については、小学校と地域住民が連携して子供たちを育成するという考えのもとに保護者の事業理解を含めその充実に努めたい。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	地域の拠点施設として利用しやすい施設運営がなされているとともに、各種事業においても地域や学校と連携した事業が積極的に実施されている。市内で唯一実施されている「かみ放課後子ども教室」は参加児童も増加傾向にあり評価も高い。人口減少の中で多くの課題を抱えながらも、工夫と改善に努め、引き続き地域の拠点施設としての公民館運営と地域の特色ある各種事業に取り組まれることを期待します。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	施設の老朽化が懸念される中、利用者の苦情もなく、施設の利用に対して満足していただいているということは、徹底的な運営管理ができていない証拠である。また、上公民館の独自事業である「かみ放課後子ども教室」は、公民館として関係者等との意見交換が適切にできていることに加え、参加者数においても増加傾向であることから、現在の運営方法を継続して実施していただきたい。			

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立渋沢公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	7.0km ²	人口	18.0千人		
施設	開館年度	平成7年度		構造	鉄筋コンクリート造地上2階地下1階建		
	延床面積	1,467.15m ²		敷地面積	2,270.70m ²		
	室名	<input checked="" type="checkbox"/> 調理室 <input checked="" type="checkbox"/> 創作活動室 <input checked="" type="checkbox"/> 集会室 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽室 <input checked="" type="checkbox"/> 和室 <input type="checkbox"/> 会議室 <input checked="" type="checkbox"/> 集会室 <input type="checkbox"/> 学習室 <input type="checkbox"/> 視聴覚室 <input checked="" type="checkbox"/> 多目的ホール					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,007	2,672	2,202	2,521		
	前年度比	4.3%	33.1%	-17.6%	14.5%		
	参加者負担金	56	58	54	72		
	前年度比	-15.2%	3.6%	-6.9%	33.3%		
	軽印刷その他雑入	274	322	291	221		
	前年度比	17.6%	17.5%	-9.6%	-24.1%		
	計	2,337	3,052	2,547	2,814		
支出	活動費(0101)	201	179	155	207		
	維持管理費(0102)	6,428	7,280	6,351	7,332		
	事務費 (0103)	人件費	8,892	9,084	9,450	10,012	
		その他	549	434	372	364	
	計	16,070	16,977	16,328	17,915		
	前年度比	-3.3%	5.6%	-3.8%	9.7%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	12,954		
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	36,003	33,521	27,979	32,000	
		利用件数	2,646	2,509	2,157	2,400	
		利用日率	68.3%	68.7%	62.3%	66.0%	
		コマ稼働率	24.5%	21.6%	21.5%	22.0%	
	事業	事業日数	131	149	110	172	
		参加者数	5,510	5,179	4,766	5,200	
	図書 室	利用者数	6,315	6,030	5,671	6,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	2,554	2,462	2,156	2,400	
	その他	納税取扱件数	1	13	1	1	
31年度方針		渋沢公民館の立地条件、住宅地と里地、渋沢丘陵など、地域特性と季節感を持たせるなど、地域と連携し、利用者のニーズを汲んだ事業を行い、子どもから高齢者まで、わくわくして来館しいきいきできる公民館を目指します。					
前年度改善事項		夏休みにおける学習場所の確保策として主に小学生を対象に集会室を学習室として開放するとともにスポーツ振興課と共催し骨盤調整教室の新規事業を実施し、施設利用の充実を図った。また、給湯器、照明等の機器の修繕、駐車場の改修等により施設の機能維持に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4	4	4	公民館運営協議会を年回2開催し、委員の意見を事業運営に反映させるとともに、利用者の意見を直接聞き、地域の特性を生かした事業を展開している。 県の公民館研修に職員並びに協議会委員が参加し情報交換を行い研修内容を周知している。 また、職員については、自主事業、公民館活動等について情報共有を図るとともに自己研さんを行っている。なお、公民館事業の周知については、広報はだのやホームページを活用し発信するとともに、チラシを作成、市内各館に掲示し効果的な事業PRを行っている。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4			
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4	4	4	公民館利用団体及び地域団体と連携し、ニーズを把握するとともに課題に取り組み、地域の拠点として公民館づくりに努めた。 公民館まつりでは実行委員会を組織し、事業を行った。利用団体に加え今年度渋沢小学校6年生が参加、地元地域の研究発表や手作り野菜等の販売を行い、大いに盛り上がった。 ホットサロン等では、高齢者の健康維持などの事業を行い、中学校運営協議会、子どもを育む協議会等と情報共有を図った。 また、夏休みには学習室として施設を開放、学習拠点としての試みを行ったが、利用が少なく周知時期及び方法の改善が必要である。 利用団体数が高齢化によりここ数年減少傾向であることから、ホームページの随時更新、館内掲示等により更なる啓発を図っていく必要がある。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	3			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4			
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3	4	4	利用者や地域住民等の声に応えられるよう職員全員があいさつ、声掛けを積極的に行っている。また、利用団体による生花の展示や掲示物・掲出物を整理し、見やすく明るく親しみやすい雰囲気づくりに取り組んでいる。 図書室では、利用者参加の季節ごとの壁面飾りを実施し、利用環境の向上を図るとともに、小学生までを対象に読んだ本の数のスタンプを貯める「よむよむカード」を配布し、読書活動の推進を図った。 なお、施設が老朽化してきており、適切な維持管理に努め、計画的な修繕行う必要がある。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4			
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	地域の特性を生かした自主事業に取り組み、関係機関、講師等の協力により一定の成果が見られた。公民館が地域の拠点となり利用者・地域住民と連携し、子どもから高齢者まで、「生き生きできる公民館」となるよう努力した。また、「公民館まつり」については、参加団体と連携協力により一層力を注ぎ、今年度好評であった小学校の参加を継続していきたい。なお、利用団体の減少、利用者の高齢化、更に年度末に発生した新型コロナウイルスの感染防止対応のための主催事業の自粛、その後の休館により利用件数・人数が減少した。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	引き続き、渋沢公民館らしい地域の特性を活かした事業を展開し、魅力ある公民館運営に努め、参加者数が減少していることを考慮し、工夫と改善により、更なる活動の充実を図るとともに、地域住民の生涯学習の拠点として、公民館機能を発揮するよう期待します。また、当面、利用者とともに施設として新型コロナウイルス感染症対策を講じられたい。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	渋沢丘陵や住宅地と里地が調和する「渋沢地域ならではの特徴」を最大限に活用した自主事業を展開し、他公民館との差別化を図る工夫は評価できる。しかし利用者の高齢化による利用団体数の減少が課題として挙げられることから、新たな利用者を獲得できるよう、HP・館内掲示等PR方法の工夫や、新規事業の検討が必要である。			

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立本町公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	6.0km ²	人口	20,000名		
施設	開館年度	平成8年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,613.58m ²		敷地面積	1,500.25m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室A ■集会室B ■視聴覚室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料		3,658	4,674	3,970	5,394	
	前年度比		9.4%	27.8%	-15.1%	35.9%	
	参加者負担金		46	84	81	56	
	前年度比		-4.2%	82.6%	-3.6%	-30.9%	
	軽印刷その他雑入		498	516	431	519	
	前年度比		-1.2%	3.6%	-16.5%	20.4%	
	計		4,202	5,274	4,482	5,969	
支出	活動費(0101)		582	630	448	220	
	維持管理費(0102)		8,176	9,203	10,093	8,888	
	事務費 (0103)	人件費	8,968	9,260	9,745	10,014	
		その他	766	444	440	385	
	計		18,492	19,537	20,726	19,507	
	前年度比		-7.0%	5.7%	6.1%	-5.9%	
	営繕工事費(0200)		18,040	2,165	0	0	
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	82,914	76,806	70,523	75,000	利用団体の高齢化や新型コロナウイルス感染症等の影響か
		利用件数	5,275	4,917	4,462	5,000	同上
		利用日率	90.4%	89.5%	83.1%	85.0%	同上
		コマ稼働率	44.6%	42.1%	41.1%	50.0%	
	事業	事業日数	103	49	47	50	2月下旬から新型コロナウイルス感染症により自主事業中止
		参加者数	3,056	3,842	3,546	4,000	同上
	図書室	利用者数	11,600	11,927	12,239	13,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
その他	納税取扱件数	26	11	24	—		
31年度方針		①従来実施した事業などの検診・見直しを行い、事業の活性化を推進する。②利用者が使いやすい施設環境の向上を図る。③明るく親切な窓口対応を心掛ける。④地域の拠点として公民館運営を推進する。					
前年度改善事項		①施設内に1年間の自主事業内容を掲載し、公民館事業のPRに努めた。②利用者が気持ちよく利用できる施設として、利用方法の注意点等を利用団体に積極的に周知した。③幼稚園・小学校と連携し、子供たちの作品等を積極的に掲示した。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	3			利用者説明会や講座終了後のアンケート等により住民の意向を把握するとともに、年3回開催した公民館運営協議会における委員からの様々な指摘や提案、公民館事務員の意見等を参考に公民館運営を行った。また、公民館運営協議会委員及び公民館職員の研修機会確保については、神奈川県公民館連絡協議会主催の研修会に出席した。公民館自主事業等については、公民館だよりやホームページ等で募集や開催結果を報告するとともに、年間でまとめた結果報告を館内にも掲出するなどし、情報発信に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	3			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			地区懇談会への出席や利用団体、地域住民等からの情報、並びに自治会との連携により、課題の把握に努めている。また、地域住民等の公民館事業への参画については、公民館発表会等の幾つかの自主事業開催に係る実行委員会に住民や関係団体等が参画して事業運営に携わっており、近隣のこども園、幼稚園及び小学校の活動に公民館施設を提供するなど地域の学校等と連携を図っている。さらに、公民館発表会実行委員会の役員に自治会や婦人会、老人クラブなど地域の関係機関・団体等の代表者が就任するとともに、公民館発表会では、利用団体による活動成果の発表や展示を各団体が連携して行い、その成果については、ホームページや年6回発行する公民館だよりで地域住民等へ情報提供している。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			日頃から利用者が多いものの、いつでも気持ちよく利用できるよう窓口対応をはじめ親切丁寧で公平な対応に事務室及び図書室の職員全員が努めている。来館者への声掛けについても日常的に行うよう心がけ、生の声等を積極的に情報収集するとともに、利用者や地域住民等からの要望や提案等に対しては具体化の有無を含めスピード感をもって対応するように努めてきた。また、図書室利用者に対しては、サービス向上の一環として職員のレファレンス(本の紹介等の援助)に一層取り組んでいく。
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができていますか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	

評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職員	4	公民館自主事業の充実に取り組み、一定の成果が見られた。公民館運営協議会委員を巻き込んだコミュニティ・スクール事業では、公民館が地域の拠点としてのコーディネートの役割を果たせるよう、さらに努力していきたい。「公民館まつり」についても、新たに参加を募り、自治会との連携協力を力を注いだ。既存の利用団体の高齢化や少数化の問題が今後大きな課題となるため、さらに努力していきたい。「秦野で一番親切的な公民館窓口」を目指し、利用者の利便を図りたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	新規事業の企画等自主事業の充実や図書室の利用増加への取り組み、並びに幼稚園・小学校との交流事業や地域の関係団体等と積極的に連携を図った事業展開など評価できるものの、利用団体の高齢化等により利用が減少傾向にあるため、窓口対応等利用しやすい環境づくりに一層の工夫と努力をし「秦野で一番親切的な公民館」を実現してほしい。開館後20数年が経過しているが、厳しい財政状況を踏まえ、施設の長期的な修繕計画の検討なども必要と思われる。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	対前年比の事業日数及び参加者数の維持は、公民館職員の工夫や事業改善の姿勢が伺える。しかし、利用者の高齢化や、新型コロナウイルスの影響に伴い、将来的に利用者数が減少することが予想される。そのため、迅速な窓口対応を始め、利用者が快く利用できるための環境整備や、利用者のニーズに合った新たな事業の取組みに期待したい。また、図書室の利用者は年々増加傾向にあることから、サービス向上の一環として、職員のレファレンスに積極的に取り組んでほしい。

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市南が丘公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	3.0km ²	人口	13千人		
施設	開館年度	平成9年度		構造	RC一部鉄骨造 地上2階地下1階建		
	延床面積	1,490.48m ²		敷地面積	2,752.63m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■音楽室 ■和室 ■集会室 ■セミナー室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,714	3,491	3,082	3,627		
	前年度比	2.1%	28.6%	-11.7%	17.7%		
	参加者負担金	20	11	11	39		
	前年度比	-33.3%	-45.0%	0.0%	254.5%		
	軽印刷その他雑入	298	274	265	348		
	前年度比	-19.5%	-8.1%	-3.3%	31.3%		
	計	3,032	3,776	3,358	4,014		
支出	活動費(0101)	204	143	160	212		
	維持管理費(0102)	7,529	7,379	8,201	8,802		
	事務費 (0103)	人件費	8,867	9,558	9,414	10,012	
		その他	428	376	368	366	
	計	17,028	17,456	18,143	19,392		
	前年度比	-6.0%	2.5%	3.9%	6.9%		
	営繕工事費(0200)	26,625	0	2,222	3,790	令和2年度屋上防水工事	
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	54,506	50,626	43,351	47,500	
		利用件数	4,235	3,829	3,577	3,700	
		利用日率	80.2%	76.9%	70.3%	75.0%	
		コマ稼働率	33.0%	29.0%	28.6%	30.0%	
	事業	事業日数	116	76	67	70	新型コロナウイルス感染症による事業の中止による減
		参加者数	5,545	5,419	1,552	5,000	新型コロナウイルス感染症による公民館まつり中止による減
	図書 室	利用者数	9,536	9,300	9,384	9,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,242	4,002	4,098	—	
	その他	納税取扱件数	23	5	11	10	
31年度方針		31年度の南が丘公民館運営方針として、地域に開かれた公民館を目指し、誰もがつどい、まなび合う環境の整備に努めること、地域の人びとの生活課題を解決するための、情報提供および学習活動への援助・助言に努めること、各種団体やサークル活動の支援に努めること、ロビーワークを重視した運営の展開に努めること、南地区公民館との連携協働の強化に努めること、最後に関係機関や地域の諸団体との連携協働の強化に努めること。					
前年度改善事項		減水警報が誤作動するなどの不具合があった地下給水ポンプの交換を行うとともに、重要設備更新計画に基づき高圧引込み設備等の更新工事を行った。また、新たに夏休み期間における小中学生を対象とした学習室を開設し、子どもたちの学習の場、居場所の確保に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			利用者説明会での意見及び公民館運営協議会委員の意見を参考に自主事業の見直しを図り、事業の充実に努めた。令和元年度は公民館運営協議会を年2回開催した。その他にも適宜、新型コロナウイルス感染症にともなう施設の利用制限・対策などの情報を委員・利用者に提供した。また、隣接する南が丘小中学校運営協議会や、南が丘中学校区豊かな心を育む協議会、南地区教育懇話会の構成メンバーとして委員及び館長が会議等に関わることができた。また、公民館自主事業の周知にあたり、広報はだの以外にも、公民館報(6回)や南が丘の学校等が連携して発行する翔丘(3回)やホームページでの周知を図った。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	3			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているか	4			公民館利用団体、南地区きれいな住みよい町づくり運動推進委員会の構成団体、南が丘8自治会とは連携を密にして、地域の拠点としての公民館づくりに努めた。また、公民館まつりは、44団体の参加を得て3月に開催を目指していたが、新型コロナウイルス感染症によるイベント自粛の要請により、臨時実行委員会を開催し中止とした。中止決定の過程において、実行委員(参加団体)の多くの参加をいただき意見を十分に出し合い、実行委員会として自主的に決定できたこと、また新型コロナウイルス感染症への理解を深めたことは、有意義であった。毎年、団体の活動内容や会員募集状況が分かる利用団体一覧表を冊子としてまとめ、参加希望者へ配布するとともに、この冊子により学習相談に応じている。今後は、公民館利用団体が増加するよう、情報の収集・提供に努めたい。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			比較的大きな規模の事業の実施にあたり、駐車場の増設などで利用者から要望はあるものの、近隣のこども園・小・中学校の駐車場を臨時駐車場として借用するなど対応している。今後の修繕計画(屋上防水工・外壁防水工など)への取り組みを計画的に進めたい。また、利用者の方に気持ちよく施設を利用していただくために、職員全体(館長・公民館事務員・図書事務員)で、明るく丁寧な窓口対応を心掛けている。ロビーの掲示物・掲出物を整理し、見やすく明るい雰囲気づくりに努めた、特に、時期によって求めが多いゴミの分別カレンダーや検診申込書などは、すぐに案内できるように工夫している。
	利用者への対応は適切か	3			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	南が丘公民館で行われている元気っ子クラブ(85名)の活動が、南公民館でも始まった。少子化の中、地域の子もたちが健やかに育まれるよう、元気っ子クラブ活動を充実させていきたい。また、災害が多発する中、公民館が避難所として利用される一方、新型コロナウイルス感染症による利用自粛などにより、活動場所が提供できないなど、自治会や地域住民、利用団体と協議や調整を図りながら公民館を取り巻く新たな課題解決に向け取り組んでいる。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	風水害時において、地元自主防災会とスムーズな連携が取れており、毛布や水、食料など必要な物資を届けることができた。また、他の公民館でも新たな子ども会活動が始まるなど、南が丘公民館元気っ子クラブ子ども会活動の成果が活かされた。新型コロナウイルス感染症による、施設運営においての様々な要請などについて、運営協議会委員や利用団体との連携・連絡を密にすることによりスムーズな公民館運営をすることができた。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	地域との協働で取り組む元気っ子クラブの活動は、前年度よりも参加者数が増加している点において、非常に素晴らしい事である。加えて図書室は、元気っ子クラブをはじめとする子ども達の拠点となっていることから、利用者数増加が数値として表れていることも評価できる。今後も図書活動推進事業や、子どもに焦点を置いた事業など、地域住民及び利用者の実情に合わせた取組みに期待したい。			

令和2年度(平成31年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立堀川公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	1.0km ²	人口	6.0千人		
施設	開館年度	平成16年度		構造	RC2階建		
	延床面積	1,496.48m ²		敷地面積	2430.76m ²		
	室名	<input checked="" type="checkbox"/> 調理室 <input checked="" type="checkbox"/> 創作活動室 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽室 <input checked="" type="checkbox"/> 和室 <input type="checkbox"/> 会議室 <input checked="" type="checkbox"/> 集会室 <input type="checkbox"/> 学習室 <input type="checkbox"/> 視聴覚室 <input checked="" type="checkbox"/> 多目的ホール					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,328	3,961	3,518	4,372		
	前年度比	13.5%	19.0%	-11.2%	24.3%		
	参加者負担金	65	69	53	95		
	前年度比	25.3%	6.2%	-23.2%	79.2%		
	軽印刷その他雑入	340	337	266	265		
	前年度比	-10.8%	-0.9%	-21.1%	-0.4%		
	計	3,733	4,367	3,837	4,732		
支出	活動費(0101)	200	221	194	185		
	維持管理費(0102)	8,811	8,423	7,523	8,681		
	事務費 (0103)	人件費	9,157	9,351	9,517	10,012	
		その他	491	462	380	364	
	計	18,659	18,457	17,614	19,242		
	前年度比	6.7%	-1.1%	-4.6%	9.2%		
	営繕工事費(0200)	0	0	286	0		
利用状況等	指標名		29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	54,595	49,847	44,058	53,000	H31は2月末までの実績
		利用件数	4,383	4,175	3,776	3,700	H31は2月末までの実績
		利用日率	86.5%	84.5%	78.0%	85.0%	H31は2月末までの実績
		コマ稼働率	41.9%	38.1%	37.9%	37.0%	H31は2月末までの実績
	事業	事業日数	101	125	129	133	H31は2月末までの実績
		参加者数	5,162	5,199	5,039	7,000	H31は2月末までの実績
	図書 室	利用者数	7,116	6,847	6,281	3,600	H31は2月末までの実績
	連絡所	住民票等取扱件数	3,861	3,770	5,903	—	
	その他	納税取扱件数	18	11	28	0	
31年度方針		学習意欲の向上や学習活動の奨励のために、学習成果が活用される場の提供により、地域住民の積極的な公民館利用に繋げ、利用団体と地域住民の交流を深めるとともに、地域から親しまれる公民館を目指す。 サークル活動に移行した事業の継続した実施により、団体の活動活性化への支援に努める。					
前年度改善事項		参加団体が実行委員会を組織して、毎年2月に開催しているバレンタインコンサートについて、多目的ホール(縦長)のステージ上で演奏や歌唱を行ってきたが、本年度は、窓際での演奏等(横長)に変更したことで、出演者と各席がより近くなり、会場全体が非常に盛り上がった。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会及び利用者説明会で意見・要望を聴取し、講座受講者にアンケート調査を実施して住民のニーズの把握に努めた。その結果を自主事業の見直しや公民館運営に生かすことができた。公民館運営協議会は新型コロナウイルスの影響で1回の開催になったが、委員には県公連が開催する研修会の情報提供し、「館長・公連協委員研修会」に委員1名が参加した。公民館情報の発信について、講座案内を広報はだの・館内の掲示板・ホームページに掲載し、運営方針等は利用者説明会を開催して周知を図った。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	3			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			西地区市政懇談会への出席、子どもを育む協議会、堀川小学校運営協議会への委員としての参加により地域課題の情報収集に努めた。生活・現代的課題に関する講座では子ども、親子、シニアを対象としたもの、秦野市ボランティア協会と連携した環境講座の里山めぐりハイキングを実施した。利用団体との連携を図る取り組みとして、ジャンルごとに分かれた展示会を3回開催し、28団体が参加した。また、利用団体相互の連携として、音楽部門の10団体が実行委員会を組織した中で、コンサートを盛大に開催することができた。利用団体の日頃の学習成果を公民館事業に生かす方法として、講座の講師を依頼しており、新規2講座、継続10講座を実施した。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	5			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	5			利用者からは希望する部屋、時間の予約がなかなか取れないとの意見はあるものの、多くの団体に利用していただいている。開館して15年経過しているが、利用団体の施設使用方法が良く、職員の実環境美化の取り組みやシルバー人材センター職員の清掃等に対して来館者からは、きれいな公民館と評価されている。来館者に対しては、挨拶を徹底し、気持ちよく利用できる環境に配慮するとともに、窓口では、親切・丁寧・公平な対応に心がけている。図書室では、新刊本を入口に配架するなど読書活動を推進した。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	3			
	施設・設備は整備されているか	4			
評価	4	4	4		
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	昨年度実施した講座において、受講者によりサークル活動に移行し、利用登録した4団体の活動の活性化を支援するため、引き続き講座を実施した結果、団体に新たに加入する受講者が出てきた。また、利用団体の活動の成果を発表する場を増やし、この団体の参加を進める。今後も公民館職員が主体となり、利用団体にも協力していただき、施設の実環境美化に努めることで、いつまでもきれいで使いやすい公民館を維持していきたい。			
内部評価	評価				
運営協議会委員	4	公民館の中で利用者が多い方であるが、このところ施設利用の実績が年々減少傾向である。その要因となっているものが何かを考え、新しい利用者を掘り起こす必要がある。施設としては、立地が良く、調理室なども充実しているので、利点・魅力をもっとPRするとともに、特に若い年齢層の利用者に魅力を感じさせ、利用したい気持ちを惹起するように配慮してほしい。利用にお金がかかるという話も聞くが、さほど負担にならないことを説明し、納得してもらう努力も必要である。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	公民館運営協議会及び利用者説明会での意見聴取、講座受講者を対象にアンケートを実施することで、利用者のニーズを的確にくみ取れたことから、事業数、参加者数、住民票等取扱件数等の増加が数値として表れている。加えて公民館図書室唯一の畳を生かし、子ども連れの方々を読み聞かせなどを積極的に実施していることも評価できる。また堀川公民館は最も新しく、施設の実地も良いことから、より一層情報発信や広告などの宣伝にも尽力し、利用者の増加に努めて欲しい。			